

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 テクニカル電子株式会社

上場取引所 東

コード番号 6716 URL <http://www.technical-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長

(氏名) 広瀬 薫

TEL 03-3762-5152

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,542	10.1	424	11.3	385	34.4	160	3.2
25年3月期第3四半期	4,125	△4.3	381	△29.4	287	△37.9	154	△66.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 112百万円 (△30.6%) 25年3月期第3四半期 162百万円 (△64.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.95	—
25年3月期第3四半期	19.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,005	2,273	25.2	283.41
25年3月期	9,072	2,249	24.8	280.37

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,273百万円 25年3月期 2,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期(予想)の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,750	2.0	550	6.6	450	13.1	250	22.5	31.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,038,100 株	25年3月期	8,038,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	16,371 株	25年3月期	13,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,022,880 株	25年3月期3Q	8,024,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により円安・株価高が進行し、明るい兆しがみられるようになりましたが、新興国経済や中国経済など海外景気の下振れ懸念により、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で当社グループは駐車場機器及び電子機器部品の開発・販売に加え、施設園芸ハウス向けヒートポンプ空調を始めとした農事用商品の販売及びアクア（水）事業としてRO水浄水器やRO水充填機の販売を行い、売上及び利益の向上に努めてまいりました。

当社の主力事業である駐車場関連事業は、駐車場運営事業及び駐車場機器事業が伴に好調であり前年同期より増収となりました。電子機器部品事業のソケット、コネクタの電子部品は増収となったものの、モニタ、ディスプレイの電子機器およびデジタルカメラ、携帯電話、自動車部品用プレス部品の売上は、全般的に低調に推移いたしました。また、アグリ事業は、ハウス栽培用ヒートポンプ空調等の農事用商品の拡販を推進した結果、前年同期より大幅な増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績の売上高は45億4,252万円（前年同期比10.1%増）となりました。生産の効率化や経費削減等、原価低減を積極的に推進し、損益面につきましては、営業利益は4億2,409万円（前年同期比11.3%増）、経常利益は3億8,584万円（前年同期比34.4%増）、四半期純利益は1億6,002万円（前年同期比3.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（駐車場運営事業）

「駐車場運営事業」につきましては、直営駐車場の収益向上に努めました結果、売上高は17億218万円と前年同期と比べ2億571万円（13.7%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は2億9,914万円と前年同期と比べ7,268万円（32.1%）の増益となりました。

（駐車場機器事業）

「駐車場機器事業」につきましては、バーゲート式全自動パーキングシステム“とめタロー”とロック板式集中精算管理システム“TPC-MP210”を中心に拡販を図りました。その結果、売上高は11億9,683万円と前年同期と比べ、1,874万円（1.6%）の増収となりましたが、原価率が増加したことなどから、セグメント利益（営業利益）は1億5,874万円と前年同期と比べ、2,484万円（13.5%）の減益となりました。

（電子機器部品事業）

「電子機器部品事業」の電子機器につきましてはLCDモニタの販売、電子部品につきましてはカスタム品コネクタの販売、各種プレス部品につきましてはデジカメ・携帯電話・HDD用部品、自動車用部品の拡販を図りました。しかしながら電子部品の売上高は増収となったものの、電子機器のCRTモニタ及び当社連結子会社EPEのプレス部品が低調に推移したことなどから、売上高は9億5,859万円と前年同期と比べ1億1,297万円（10.5%）の減収となり、原価低減（粗利率改善）等を積極的に推進しましたが、セグメント利益（営業利益）は4,590万円と前年同期と比べ5,540万円（54.7%）の減益となりました。

（不動産賃貸事業）

「不動産賃貸事業」につきましては、東京本社の賃貸不動産を売却したため、売上高は2億1,305万円と前年同期と比べ3,096万円（12.7%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は1億1,491万円と前年同期と比べ2,661万円（18.8%）の減益となりました。

（アグリ事業）

「アグリ事業」につきましては、ハウス栽培用ヒートポンプ空調等の農事用商品の拡販を推進しました。その結果、売上高は4億4,056万円と前年同期と比べ3億1,369万円（247.3%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は9,032万円（前第3四半期連結累計期間は422万円の営業損失）と増益となりました。

(その他)

その他（アクア事業等）は、アクア（水）事業としてＲＯ水浄水器やＲＯ水充填機の拡販を推進しました。その結果、売上高は3,129万円と前年同期と比べ2,318万円（286.0%）の増収となり、セグメント損失（営業損失）は1,988万円と前年同期と比べ767万円（27.9%）の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、90億562万円（前連結会計年度比6,651万円減）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が増加したこと等により、33億8,249万円（前連結会計年度比13億6,535万円増）となりました。

固定資産につきましては、本社土地建物を売却したことから建物及び構築物並びに土地が減少したこと等により、56億2,312万円（前連結会計年度比14億3,186万円減）となりました。

②負債

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、67億3,221万円（前連結会計年度比9,013万円減）となりました。

流動負債につきましては、流動負債その他が増加したものの、未払法人税並びに支払手形及び買掛金が減少したこと等により、19億143万円（前連結会計年度比644万円減）となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が増加したものの、役員退職慰労引当金及び固定負債その他が減少したこと等により、48億3,078万円（前連結会計年度比8,368万円減）となりました。

③純資産

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、22億7,341万円（前連結会計年度比2,362万円増）となりました。土地再評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年５月20日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

- （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,784	2,149,499
受取手形及び売掛金	508,746	554,181
たな卸資産	356,219	420,362
その他	250,644	269,173
貸倒引当金	△11,255	△10,721
流動資産合計	2,017,139	3,382,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,063,599	1,525,105
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	709,032	678,825
土地	3,760,856	2,893,313
リース資産（純額）	21,438	20,949
建設仮勘定	3,763	7,650
有形固定資産合計	6,558,689	5,125,844
無形固定資産		
のれん	209,384	187,844
その他	12,633	29,676
無形固定資産合計	222,017	217,521
投資その他の資産		
投資その他の資産	287,749	293,221
貸倒引当金	△13,459	△13,459
投資その他の資産合計	274,290	279,762
固定資産合計	7,054,996	5,623,127
資産合計	9,072,135	9,005,623
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,454	272,920
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	475,272	463,700
未払法人税等	118,523	135
引当金	90	3,130
その他	927,536	1,121,544
流動負債合計	1,907,876	1,901,430
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	3,238,926	3,909,595
退職給付引当金	46,803	46,436
役員退職慰労引当金	355,584	22,756
その他	1,153,155	751,992
固定負債合計	4,914,469	4,830,780
負債合計	6,822,346	6,732,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,052,850	1,052,850
資本剰余金	236,436	236,436
利益剰余金	510,740	1,081,858
自己株式	△3,774	△4,448
株主資本合計	1,796,251	2,366,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	2,253
土地再評価差額金	445,637	△117,558
為替換算調整勘定	8,230	22,010
その他の包括利益累計額合計	453,527	△93,294
少数株主持分	10	10
純資産合計	2,249,789	2,273,411
負債純資産合計	9,072,135	9,005,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	4,125,117	4,542,527
売上原価	3,050,595	3,340,229
売上総利益	1,074,521	1,202,297
販売費及び一般管理費	693,466	778,205
営業利益	381,054	424,091
営業外収益		
受取利息	1,339	1,263
受取配当金	909	974
為替差益	—	8,966
受取手数料	1,746	234
貸倒引当金戻入額	—	534
その他	2,022	6,017
営業外収益合計	6,017	17,989
営業外費用		
支払利息	81,981	54,387
為替差損	13,311	—
その他	4,751	1,850
営業外費用合計	100,043	56,238
経常利益	287,028	385,843
特別利益		
固定資産売却益	1,013	23,566
役員退職慰労引当金戻入額	—	10,453
特別利益合計	1,013	34,019
特別損失		
固定資産除却損	2,794	12,504
役員退職慰労金	—	315,117
訴訟関連損失	1,294	3,187
特別損失合計	4,088	330,808
税金等調整前四半期純利益	283,952	89,054
法人税、住民税及び事業税	111,980	63,062
法人税等調整額	16,975	△134,033
法人税等合計	128,956	△70,970
少数株主損益調整前四半期純利益	154,996	160,024
少数株主利益	0	0
四半期純利益	154,996	160,024

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	154,996	160,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,598	2,594
土地再評価差額金	—	△63,845
為替換算調整勘定	9,706	13,780
その他の包括利益合計	7,107	△47,470
四半期包括利益	162,104	112,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,104	112,553
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	駐車場運営 事業	駐車場機器 事業	電子機器部 品事業	不動産賃 貸事業	アグリ 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,496,469	1,178,090	1,071,564	244,018	126,867	4,117,009	8,107	4,125,117
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	4,628	—	—	—	4,628	—	4,628
計	1,496,469	1,182,718	1,071,564	244,018	126,867	4,121,637	8,107	4,129,745
セグメント利益 又は損失(△)	226,469	183,591	101,311	141,530	△4,227	648,676	△27,561	621,115

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	648,676
「その他」の区分の損失(△)	△27,561
セグメント間取引消去	△4,628
全社費用(注)	△235,432
四半期連結損益計算書の営業利益	381,054

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	駐車場運営 事業	駐車場機器 事業	電子機器 部品事業	不動産賃 貸事業	アグリ 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,702,183	1,196,835	958,594	213,056	440,565	4,511,234	31,293	4,542,527
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,702,183	1,196,835	958,594	213,056	440,565	4,511,234	31,293	4,542,527
セグメント利益 又は損失(△)	299,149	158,746	45,908	114,917	90,328	709,049	△19,884	689,165

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	709,049
「その他」の区分の損失(△)	△19,884
全社費用(注)	△265,074
四半期連結損益計算書の営業利益	424,091

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「アグリ事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。